

第2次

夕張市子どもの読書活動推進計画

平成30年4月

夕張市教育委員会

目 次

1	はじめに	1
2	第1次夕張市子どもの読書活動推進計画反省と課題 . . . 2	
	ステージ i 「乳幼児の読書環境 (0歳から5歳)」 . . . 2	
	ステージ ii 「児童の読書環境 (小学校期)」 3	
	ステージ iii 「生徒の読書環境 (中学校期)」 4	
3	第2次夕張市子どもの読書活動推進計画	5
	① 計画策定の意義と目指す姿	5
	② 計画の名称と期間	5
	③ 計 画	6
	ステージ i 「乳幼児の読書環境 (0歳から5歳)」 . . . 6	
	ステージ ii 「児童の読書環境 (小学校期)」 7	
	ステージ iii 「生徒の読書環境 (中学校期)」 8	
4	資料編	9
	アンケート結果	9
	絵本・児童書の状況	16
	子どもの読書活動に関わる活動	17

1 はじめに

子どもの読書活動は、言葉を学び、感性を磨き、想像力を育て、表現力を高める重要な役割を担っています。良質な本との出会いは、人生をより豊かで深いものにし、さらには生きる力を身につけていくうえでも欠くことのできないものであり、社会全体でその環境整備を推進することが求められています。

子どもが自分で本を選ぶことができるようになるまでの読書環境は、日常生活を通して形成されるため、家庭での習慣づけが重要です。そうして身についた読書習慣は、成長とともに興味関心のジャンルが広がり、自我の確立や進路選択、学力の向上などに果たす役割も非常に大きなものとなります。

近年は、インターネットの普及により、社会には様々な情報が溢れ、数えきれないほどの書籍が多様な形で出版されています。読書や学習、調査なども電子書籍やデジタルアーカイブの公開などが進み、手軽で身近なものへ変化しています。良質な図書・正確な情報の提供など、子どもたちの読書活動推進の取り組みも、より複雑化していると言えます。

この度、教育委員会では、第1次計画の成果と課題を引き継ぎながら「第2次夕張市子どもの読書活動推進計画」を策定いたしました。

策定にあたり、ご協力をいただきました関係各位に感謝申し上げますとともに、今後ともすべての子どもがあらゆる機会・場所において、本と親しむことのできる環境の醸成にお力添えを賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

夕張市教育委員会
教育長 今 勉

2 第1次 夕張市子どもの読書活動推進計画 反省と課題

ステージ i) 「乳幼児の読書環境 (0歳から5歳)」

反省と課題

絵本の読み聞かせは親子のあたたかな関係を育み、精神的な安定や充足感、親への信頼をもたらすものである。しかしながら、保護者の多忙等により時間がとれない家庭も多く、読み聞かせの頻度は家庭によりかなりのばらつきがあるようである。

乳幼児期は言葉や感情、基本的な生活習慣なども絵本から模倣し覚える大切な時期であると捉え、保護者への学習機会として主に下記の取り組みを継続してきた。

取 組

【ブックスタート】

平成 21 年度から、ボランティア団体の協力によりスタートした事業であるが、28 年度でプレゼント用絵本の購入ができなくなったことから、翌年度からは市で同等の絵本を購入し事業として継続している。

【乳幼児健診時の絵本の紹介】

生後 10 ヶ月で絵本を読んであげながら手渡し (ブックスタート)、1 歳 6 ヶ月の時に絵本紹介と読み聞かせを勧める取り組みを継続。健診会場では絵本に興味を示し、広げて読んでいる親子が増えており、一定の効果があつたと感じる。

【図書まつりの実施】

いろいろなテーマに沿った内容を通じて、親子と子どもに関わる市民団体の接点の場として図書まつりを実施。皆楽しく参加しているが参加者は減少傾向である。

【読み聞かせ活動】

乳幼児健診 (年 4 回) での実施のほか、幼稚園 (月 1 回) でボランティアによる読み聞かせや、クリスマスおはなし会を実施。

【就学前児童の保護者を対象とした講話の実施】

小学生になってからの図書と子どもの関わりや、推薦図書などの紹介を社会教育事業の中で 15 分程度の講話として実施。

課 題

- ・ 保護者への読み聞かせの重要性を伝える機会の充実
- ・ ボランティアの増

物事への興味や関心を引き出し、感性や想像力を育む時期であるため、年齢に応じた図書との関わりを重視し、学校の理解のもと、継続した読み聞かせ活動を進めてきた。近年は読み聞かせの対象を過ぎた高学年児童へのブックトークにも取り組むことができた。また、小学校独自の取り組みとして、全教室に学級文庫を設置したり、全校一斉朝読書の時間を週に一度設けたりしている。

学校ブックフェスティバルは、主に道立図書館の支援事業で実施しており、支援対象とならない年もあるため、同様の事業を継続するためにも図書コーナーの児童書の充実が必要である。

取 組

【読み聞かせ・ブックトーク活動】

当初、3年生までの児童への読み聞かせ活動のみであったが、平成27年度から、4年生以上のクラスで、テーマに沿った本を数冊紹介するブックトークを実施。現在は紹介した図書を学級文庫として一定期間配置し、随時入れ替えを行っている。

【学校ブックフェスティバル】

本の貸し出しのほか、全児童への読み聞かせを実施。子どもたちはたくさんの本に触れ、目を輝かせて楽しく選書しているが、実施に際しては、大量の本の運搬、配置、貸出作業等、ボランティアの手を借りても厳しい状況である。

【図書の整備】

学校図書室の新刊等の整備（配架・貸出できる状態までの作業）を司書・ボランティアで支援。

【生涯学習カレンダーまなび〜ばでのオススメ本紹介】

長期休暇直前に発行する紙面で、司書が薦める図書を紹介。（年2回）

課 題

- ・ 図書コーナーの児童書の充実
- ・ 学校図書室の環境づくり（図書コーナーとの相互検索等）
- ・ 図書コーナーの情報発信

知識の幅を広げ、自我の確立や情操の涵養のためにも、優れた本・多様なジャンルの本を手にとれる環境の醸成が重要と考えるが、インターネットの普及による調べ学習の形態の変化や図書室利用時間の制限など、図書に触れる機会を増やすのは難しいと感じる。

中学校の独自の取り組みとして、図書委員による図書だよりの発行や、一部、学級文庫の設置も進んでいる。

取組

【図書の整備】

学校図書室の新刊等の整備（配架・貸出できる状態までの作業）を司書・ボランティアで支援。

【生涯学習カレンダーまなび～ばでのオススメ本紹介】

長期休暇直前に発行する紙面で、司書が薦める図書を紹介。（年2回）

【ブックリストの配布】

ボランティア団体の協力により作成されたブックリストを中学校入学時の生徒へ配布。

課題

- ・ 図書室や図書コーナーの蔵書を調べられるシステムの導入
- ・ 図書を手にとれる環境づくり

3 第2次 夕張市子どもの読書活動推進計画

① 計画策定の意義と目指す姿

本市の子どもを取り巻く読書環境は、ボランティアの力によって支えられているところが大きく、行政・家庭・学校・地域が課題を共有し、その実現に向けて連携していくことが重要と考え、平成25年4月に第1次となる夕張市子どもの読書活動推進計画を策定し、これまで、すべての関係者が同じ目標を持ち、より良い読書環境を計画的に醸成すべく推進してきました。

この間、子どもの数の減による利用・貸出冊数の減やボランティア不足はありつつも、図書購入予算の復活や蔵書数の増加、読み聞かせ活動の充実、図書コーナーの移転計画など、ソフト・ハード両面での推進がなされてきました。

しかしながら、来館する子どもたちの多くはリピーターであり、その多くを乳幼児が占めていることから、幅広い年代での利用促進を図っていくことが喫緊の課題であります。

第2次計画の策定にあたっては、前述の第1次計画及び第6次夕張市社会教育中期計画（平成29年3月策定）を踏まえ、子どもたちの日常に携わる保育園、幼稚園、小学校、中学校、そして乳幼児をもつ保護者を対象に、子どもたちの読書活動の実態について、この5年間での経過や変化を調査し、その結果を基礎資料といたしました。

また、取り組みに地域差が生まれぬよう「子どもの読書活動の推進に関する法律」及び「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」「北海道子どもの読書活動推進計画」に基づき、基本的な取り組みの指針といたしました。

本計画を通し、子どもたちが素晴らしい本と出会い、豊かな人間性を身につけられるよう、行政・家庭・学校・地域がより緊密に連携しながら多角的な読書環境の整備を進めてまいります。

② 計画の名称と期間

この計画の名称を「第2次 夕張市子どもの読書活動推進計画」とし、期間は2018年度から2022年度の5ヶ年とします。

なお、具体的な取り組みについては単年度の社会教育計画の中で示し、年度ごとの事業の反省と評価を積み重ね、目標の達成に努めます。

③計画

ステージ i)「乳幼児の読書環境 (0歳から5歳)」

子どもが最初に本と出会うのは家庭です。絵本の読み聞かせは親子のあたたかな関係を育み、精神的な安定や充足感、親への信頼をもたらします。言葉や感情、基本的な生活習慣なども絵本から模倣し覚える大切な時期です。

推進の方向性

保育園や幼稚園での読み聞かせは、毎日数回実施されているが、各家庭での本に触れる機会は、保護者の就労形態や意識等によりバラつきが多いようであるため、保護者に対し、読み聞かせの重要性を伝える機会を増やしていく。また、園以外での読み聞かせの場面では、ボランティアの力が非常に大きいため、ボランティアの新規開拓が重要である。

具体的な取組

- ア 読み聞かせボランティア・司書・保健師の連携
 - ・乳幼児健診等でのボランティアによる読み聞かせや託児
- イ 家庭への働きかけ
 - ・乳幼児健診や社会教育事業等での司書による読み聞かせの必要性の発信と絵本紹介
 - ・月齢に応じた絵本を紹介する冊子の作成・配布
- ウ 幼稚園・保育園支援
 - ・図書コーナーからの絵本や紙芝居の貸出
 - ・ボランティアによる読み聞かせ
 - ・市民団体・幼稚園・保育園の共同開催による絵本や読み聞かせに関する研修機会の充実

ステージ ii)「児童の読書環境（小学校期）」

文字を覚え、本の好みがでてくる時期に良質な本に出会えることは、物事への興味や関心を引き出し、感性や想像力を育むことにつながります。また本の楽しさを知り自主的に本を読む土壌を育てるための大切な時期です。

学習においても、自ら図鑑・辞事典等を使って調べる力を育てることが大事になってきます。

推進の方向性

一般に学校段階が進むにつれて読書離れも進む傾向にあるため、高学年へも図書に触れる機会を持てるよう、平成 27 年度から始めたブックトークを今後も継続し、図書室整備、学校ブックフェスティバルなど、学校との連携を重視していきたい。

また、小学校期の読み聞かせや、読書習慣をつけるための家庭での保護者の働きかけの重要性について、保護者へ伝える機会を定期的に持つ必要がある。

具体的な取組

ア 学校図書室の整備・充実

- ・ 図書の計画的な整備及び選書等運営相談
- ・ 司書・ボランティアによる図書整理
- ・ ポップ・展示コーナーの充実

イ 読書支援

- ・ ボランティアによる読み聞かせ・ブックトークの充実
- ・ 調べ学習の相談など学校と市図書コーナーの連携

ウ 家庭への働きかけ

- ・ おすすめ本の紹介
- ・ 集まる施設を目指し、定期的なイベントの実施
- ・ 図書コーナーの情報発信

ステージ iii)「生徒の読書環境（中学校期）」

周囲から多くの影響を受け、心も大きく成長するこの時期は、知識の幅を広げ、自我の確立や情操の涵養のためにも優れた本を読むことが望まれます。また相互理解のツールとしての役割も期待できるので、多様なジャンルの本を手にとれる環境が必要です。

推進の方向性

学校においては、部活動やバス等の都合上、図書室は授業以外昼休みのみの利用となるが、第1次計画策定時のアンケートに比べ、一部学級文庫の設置や調べ学習での図書の活用などが意識されてきている。放課後や学校休業日の読書支援として図書コーナーへの来館につなげたい。

自主的に本を読む習慣がついている子どもと、ついていない子どもの差がある時期であるため、読書の習慣化を目指し、全国的に取り組まれている「一斉読書」等の推進を図れるよう学校との連携を進めたい。

また、図書室にどのような本があるかをデータ検索できるシステム（OPAC）等、ニーズに合った環境整備を検討したい。

具体的な取組

ア 学校図書室の整備・充実

- ・ 図書コーナーと図書室をつなげる蔵書検索システム導入の検討
- ・ 図書の計画的な整備及び選書等運営相談
- ・ 司書・ボランティアによる図書整理
- ・ ポップ、テーマ展示による工夫

イ 調べ学習利用の推進

- ・ 調べ学習用図書の充実
- ・ 図書コーナーへの相談受付・資料貸出

ウ 読書活動支援

- ・ 一斉読書の推進
- ・ ブックリストの作成・配布
- ・ 図書コーナーの情報発信

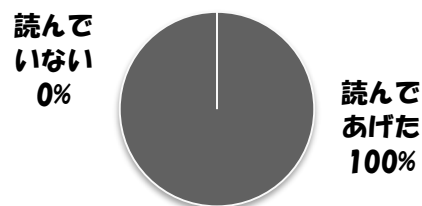
4 資料編

アンケートⅠ 幼児をもつ保護者【1歳、1歳6ヶ月児健診時11名回答/選択・記述】

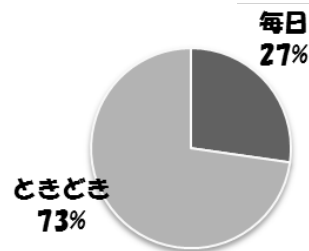
①9・10ヶ月健診で絵本をもらいましたか？



②もらった絵本は家でも読んであげましたか？



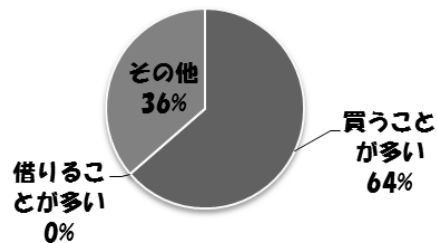
③普段、絵本の読み聞かせをしていますか？



④本はどのようにして手にしていますか？

(その他意見)

- ・プレゼント
- ・おさがり
- ・家に結構ある



⑤図書コーナーを利用したことはありますか？



⑥図書コーナーに対するご意見・ご要望をお書きください。

- ・大きな絵本を読ませたい。
- ・絵本がもらえるのありがたい！！

アンケートⅡ 幼稚園・保育園【4園/記述】

①園では、絵本や紙芝居の読み聞かせを日常的に行っていますか？

- ・絵本の読み聞かせを、毎日降園前に行っている。その他、月1回ボランティアによる読み聞かせ。
- ・読み聞かせは毎日、午前・午睡前・午後と行っています。また、必要に応じて、一日の中で時間帯を決めずに読み聞かせを行うこともあります。
- ・朝全体遊びの後、遊びの区切り、午睡前、夕方全体遊びの前など。常に絵本・紙芝居は使用しています。
- ・毎日、朝・午睡前・降園準備後の3回は行なっています。

②パネルシアター・エプロンシアターなどの活動は行なっていますか？

- ・あまり行なっていない。(年数回)
- ・おもに誕生会の催し物として行っています。年間4～5回ほど。
- ・入園式、誕生会、行事等、使用しています。
- ・誕生会や行事(七夕・クリスマス等)催しとして年2～3回程度は行なっています。

③子どもたちが家庭で十分に本を読んでもらっていると感じますか？

- ・世帯による個人差はあるが、不十分と思う。
- ・絵本の貸し出しなど行っていますが、借りていく家庭も少数で、だいたいいつも同じ家庭です。家庭で絵本に触れることが十分ではないと感じます。
- ・大家族…とはいきませんが、絵本の貸し出しで借りていく家庭が増えてきています。
- ・家庭で過ごす時間が短かかったり(親の仕事により)家庭の本に対する興味に差があったりするため、十分でない子が多いように感じます。

④園所蔵の絵本・紙芝居は十分ですか？

- ・不足は感じない。
- ・十分とは思いませんが、揃っています。傷んでしまった絵本、内容が古い紙芝居など買い替えたと思います。
- ・それなりの種類、冊数はある方だと思われます。
- ・毎年購入したり、寄付していただいておりますが、十分とは言えないかもしれません。

⑤市図書コーナーに希望することがあればお書き下さい。

- ・大型絵本を充実してほしい。
- ・なし。
- ・新刊等、なかなかすぐには買えない本があると嬉しいです。大型絵本等も園にはない物が

あり嬉しいです。

- 位置的に沼ノ沢や紅葉山、滝ノ上地区は遠いように思います。移動図書館があると、南の方の親子も楽しめるように思います。

◎読み聞かせボランティアに希望することがあればお書きください。

- 大変ありがたい。園児に有用であり、継続してほしい。
- 読み聞かせボランティアを利用したことがないので。
- 保育園では体験する機会はありませんが、ぜひ聞いてみたいと思います。
- 保育士とまたちがった読み聞かせがあるように思いますので、ぜひ保育園にもお越しいただきたいです。

アンケートⅢ小学校・中学校【各1校/記述】

①図書室はいつでも利用できるようになっていませんか

小：なっている。

中：授業では利用できる。生徒のみは、常任委員会で昼休み貸出しを行っている。

②図書室の利用状況を教えてください。

小：大・昼休みに貸出10名程度、図書室で閲覧10名程度…日による。バス待ち教室として、放課後に閲覧多数。

中：生徒は昼休みに利用。

③図書を購入するとき、どのように選定していますか。

小：図書委員会やその他の子どもたち、先生方に来てもらって、選定会を行っている。

中：生徒用は、図書常任委員会で選定させているが、最終的に教師が確認している。

読書活動の実態

④図書委員会は主にどのような活動をしていますか。

小：貸出・返却作業。オススメの本コーナーづくり。読書の木。貸出グラフ作成。年度末に本を多く借りた人に対して表彰を行っている。など

中：図書だよりの発行。図書購入計画。貸出業務。図書室の管理、清掃、整理。古切手の回収。

⑤調べ学習など授業に図書室が利用されていますか。

小：はい。

中：はい。

⑥各教室に学級文庫はありますか。

小：今年度から図書室で重複している本などを中心に30冊程度教室置きにしている。

(学期に1回ローテーション)

中：一部の学級。10～15冊常備。月1回、図書委員が入れ替えている。必要に応じて、各種辞書も常備。

⑦読み聞かせ・朝読書・一斉読書などに取り組んでいますか。

小：毎週金曜日に全校で一斉朝読書を行っている。

中：取り組んでいない。

⑧ブックトークはしていますか。

小：ボランティアさんにいただいている（高学年）

中：していません。

⑨市図書コーナーにどのような連携を望みますか。

小：これからも読み聞かせや図書整備のご協力をいただけると助かります。貸出のバーコード化は可能でしょうか？

中：蔵書のデータ検索。

⑩読み聞かせボランティアにどのような連携を望みますか。

小：これからも読み聞かせの継続をお願いしたいです。

中：中学校での活用はありません。

⑪今後、図書室をどのように活用させたいですか。

小：もっと本に親しんでもらえるように、季節展示などにも力を入れたい。また、子どもたちがなかなか手に取らない古い図書も多いので、閉架・廃棄の検討をしなくてはならないと考えています。少なからず本の破損や紛失があり、子どもたちへの指導を続けているところです。手書きの貸出カードの管理ではなく、バーコード管理になると紛失は減るでしょうか？

中：調べ学習で必要な本を貸し出す。また、閲覧できるシステムを導入し、利用者を増やしたい。

⑫そのためにはどういった仕組みや設備が必要ですか。

中：図書室と市図書コーナーの在庫状況を把握できるデータ管理。

アンケートⅣ 読み聞かせボランティアひなた Book★【8名/記述】

①どのようなボランティア活動をしていますか？（複数回答）

掃除 8 託児 3 図書の整理 2 読み聞かせ 8
学校図書に関わること 2 その他（ ）

②どんな場面で（幼稚園・学校・老人施設など）読み聞かせをしたいですか？（複数回答）

幼稚園 5 老人施設 1
保育園 1 養護学校 1
小学校 4 幼児・子ども向け 1

③ 学校での朝の読み聞かせをした感想を教えてください。

- ・楽しそうと思って持って行っても、いまいちつまらなそうな時もあり、本選びの難しさを感じます。
- ・読み聞かせを待っていてくれる子もいて「ありがとう」の言葉と笑顔が嬉しく、朝早いのも10分以内の本選びも大変ですが、私にとっては幸せな時間です。
- ・毎回、子ども達の元気なパワーを受け、楽しい時間を過ごさせていただいています。
- ・集中して聞いてくれて、おもしろかったと反応があった時は、うれしく思います。
- ・授業前の10分間ですが（1～3年生）始めは少々ざわついている事もありますが、すぐに集中してくれ、反応もあってやりがいがあります。
- ・子ども達が楽しそうに聞いてくれるので自分も楽しんでます。

④あなたが感じている図書コーナーの課題は何でしょうか。

- ・地域的に集まりづらい。
- ・1日も早い新しい図書館の新設で問題も少し減ると思います。
- ・意外と一般の人に図書コーナーの存在が浸透していないのが残念です。もっと多くの人に利用してもらいたいです。
- ・ゆっくり本を読める、休めるスペース。
- ・大人向けの本が少ない。

⑤今後のひなた BOOK★の活動に対して思うこと、どんなことでもお書き下さい。

- ・定期的に本の整理等が出来たら良いと思う。
- ・夕張市全体の問題ですが人口減少で子どもが少なくなり、イベントに集まる人数も少ないのが残念です。ボランティアも高齢化で若い人達が入ってきてほしいと思います。
- ・活動している人がだんだん少なく、年齢的にも高齢になるにつれて、活動範囲も限られてく

るのが心配です。いろんな方面で活動できるよう、若い方達が入ってくれることを望んでいます。世代の交流も大切なことだと思っています。

- 会員の高齢化、若い人の加入があればいいですね。図書コーナーとしてのボランティアなので、本の作業があればと、物足りなく感じます。
- 活動も10年を過ごしましたが、関わってきた会員も年齢を重ね、ほとんどが60歳後半です。若い世代を増やしていきたいと思うのですが、むずかしさを感じています。
- ボランティアの高年齢化。
- 若い方に参加してほしい。

【絵本・児童書の状況（市図書コーナー分）】

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
蔵書数	総数	23,244	24,614	26,044	26,533	28,019	
	内数 絵本・児童書	7,448	7,769	8,258	8,576	8,900	
貸出冊数	総数	7,440	7,236	7,027	5,885	5,936	
	内数	絵本	1,694	1,527	1,489	759	1,340
		児童書	309	250	289	237	232
	絵本・児童書計		2,003	1,777	1,778	996	1,572
	絵本・児童書の占める割合		26.9%	24.6%	25.3%	16.9%	26.5%
中学生以下一人当たりの年間貸出冊数		2.9	2.9	3.0	1.9	3.2	

蔵書数は清水沢図書コーナー・巡回文庫分を含みます。

貸出冊数に清水沢図書コーナーの分は含まれていません。

小数点ができるものは第二位で四捨五入しています。

特に記載のない数字は冊数を表しています。

【子どもの読書活動に関わる活動（平成29年度）】

夕張市図書コーナーの取組

ブックスタート	9・10ヶ月健診時に絵本・リーフレット・専用バッグ配布	年6回
絵本紹介	乳幼児健診会場での絵本展示と絵本紹介	年4回
巡回図書	幼稚園、学童保育所（2か所）へ配本	通年
道立図書館との連携	学校ブックフェスティバル（小学校）	年1回
清水沢図書コーナー	南支所ロビーに乳幼児用の本のスペースを設置	通年
学校読書活動支援	図書室図書整理	年2回
ブックトーク	小学校高学年向け、テーマに沿った本の紹介。紹介した本を教室に貸出。	11月～3月週1回
オススメ本の紹介	生涯学習カレンダー「まなび～ば」で夏冬期休業前に図書を紹介	年2回
図書まつり	市民団体による企画やブースと合わせ1日楽しめるイベントを実施	9月
みんなともだち事業	新入学児童の保護者向け講話	12月

読み聞かせボランティア「ひなた Book☀」の取組

おはなし会	クリスマスおはなし会	年1回
朝の読み聞かせ	小学校で朝礼前に10分間の読み聞かせ	週1～2回
幼稚園読み聞かせ	絵本・紙芝居の読み聞かせや手遊び	年10回
小中学校図書室整備	小中学校図書室図書の装備	年2回
育児教室協力	読み聞かせ・託児	年6回
乳幼児健診協力	読み聞かせ・託児	年4～6回

夕張子ども文化の会「かぜちやる」の取組

講演会活動	絵本作家等による保育園等での講演会	年1回
中学生向けブックレット配布	新入生におすすめ本リストを配布	年1回